鹿児島未来170人会議

KAGOSHIMA MIRAI 170 KAIGI

2019.1.26

鹿児島未来170人会議とは

鹿児島に「対話」と「挑戦」の協働文化をつくるプロジェクト。鹿児島県民170万人の0.01％（170人）が一堂に会し、鹿児島の未来を語り、自分自身の小さな一歩を踏み出す、年に一度のお祭りです。今年で5回目の開催となりました。過去4回の鹿児島未来170人会議を通して、私たちは鹿児島で活躍する多くの挑戦者と支援者をつないできました。この場で生まれたご縁が県内各地のさまざまな取り組みにつながっています。

協働の文化づくり

地域にある課題が行政・企業・NPOなどのセクターを超えた県民同士の対話によって扱われ、解決のためのアイデアとアクションがその中から自然と湧き起こってくる「日常」を目指して。

社会課題と未来の共有

それぞれの地域にある課題（現実）に目を向けること。さらには、その課題を解決した先にある鹿児島の未来の姿を描き、感じ、希望を持てること。

仲間との出逢い

プレゼンター同士、プレゼンターとスタッフ、プレゼンターと参加者、そして参加者同士。「未来は自らの手でつくる」そんな思いに溢れた、歩みを支え合える仲間との出逢い。

開場 9:00　開始 9:30　10:00　11:35

本日のプログラム

基調講演

県外の先進事例について学ぶ、良質なインプットの時間になります。外の事例を学ぶことで、自分自身の取り組みのヒントを得たり、それぞれの年代・立場での関わり方について考える時間になります。

プレゼンテーション

今年は20名のプレゼンターが登壇。各分野、各地域で活動するスピーカーが、1分間でそれぞれの取り組みとそこに込める想い、この場にいる皆さんと話したいテーマについてプレゼンテーションを行います。

基調講演タイトル　**共感からはじまるコミュニティ**

講師紹介

Community Nurse Company 株式会社

代表取締役　**矢田 明子 氏**

島根県出雲市出身。2014 年島根大学医学部看護学科卒。島根県雲南市立病院企画係保健師、NPO 法人おっちラボ副代表理事、株式会社 Community Nurse Company 代表取締役、島根県総合発展計画策定委員。雲南市が主催する課題解決人材育成事業(幸雲南塾1期)で地域に飛び出す医療人材によるコミュニティづくりを提案。コミュニティナースとして地域の様々な場所で、健康や暮らしに関する相談対応や関わりを行なってきた。それを元に医療人材を含むまちづくり関係者を体系的に育成するプログラムを確立し、2013 年より東京大学医学部のサマープログラムに認定。2016 年からコミュニティナースプロジェクトを進めている。

コミュニティナースプロジェクト説明会の様子

町の人が町の人へコミュニティナースを紹介

20 名のプレゼ
中面をご覧

休憩 13:00 → 14:25 → 17:20 → 18:00 終了

170人未来会議

会場を20テーブルに分け、プレゼンテーションを聴いて「この人の活動を応援したい」と感じたプレゼンターのところへそれぞれ移動。取り組みの前進をサポートする20のダイアログ(対話)が一斉に開催されます。

振り返る

これまでの時間を振り返り、この場を通して、自分の中で生まれた変化を共有します。そして、これから自分が踏み出したい一歩を考え、最後に170人の宣言を張り出し、この場を終えます。

過去のプレゼンターの“今”を追いかける

過去4回で登壇いただいたプレゼンター53名。
一人ひとりにとって170人会議に参加したことはどんな意味や気づきがあり
当時のテーマ(取り組み)は今どうなっているのかを聴いてみました。

一般社団法人
folklore forest
米蔵 雄大
よねくら　ゆうだい

170人会議に参加したことは自分自身にとってどんな意味がありましたか？

鹿児島県に転居して一年目で、手探りの中活動をしていました。本イベントに参加し、県内の状況や参加者の要望、困りごとが見えてくる良い機会となりました。また、専門知識と熱い気持ちを持つサポーターによる伴走から、エネルギーをもらい気持ちも一歩前進したように感じています。

登壇当時、テーマにしたチャレンジは今どうなっていますか？

サポーターやイベント参加者と連携して、翌年度はイベントを1回行うことができました。さらに来年度は、年3回の開催を予定しています。県内からの参加者が集まるため、そのつながりを活かすことで活動が県内へと広がり、多くの子どもたちに学びの機会を届けることができました。

Kids Cafe&Bar LINK
種子田 璃紗
たねだ　りさ

なにをプレゼンしたいかも定まらないまま、勢いで登壇を決めたところもありましたが、結果としてとてもいいタイミングだったと思います。当日のみならず、そこに至るまでの日々が、スタッフの皆様のおかげでもあり、自分自身と向き合うことが出来ました。また当日は、多くのご意見をいただくことが出来ました。

登壇当時、テーマにしたチャレンジは今どうなっていますか？

「居場所づくり」をテーマに立ち上げた自身の店ですが、『ここで、みんなの思いをのせてチャレンジを続けます』とお伝えした通り、日々いろんなことが前に進んでいます。ベビー・キッズとその家族を超えて、多様な方の集う場所となっています。これからも多くの方と繋がり、お力添えをいただきながら歩んでいければと思います。

ンター紹介は
ください。

そのほかのプレゼンターの
“今”はこちらでご覧いただけます ⇨
https://www.ten-lab.org/〈Ten-Lab webサイト〉

この場で大事にしたい３つのこと

新たな出会い・つながり きっかけが生まれる場

１７０人が一堂に会するお祭り、でもただのお祭りではない。この場は「対話」がベースとなってつくられています。いろんな方々と「お話してみてください」という時間が多くあり、はじめは少し緊張するかもしれませんが、まずは一言声を発してみる。そんな感覚でいろんな方とゆるやかに話をしてみてください。

安心して話し、自分の考えや やりたいを受けとめてもらえる場

相手に理解をしてほしいわけではない、ただ自分の考えや気持ち、取り組みを安心して話し、聴いてくれる仲間がいるということ。
この場に限らず、鹿児島全体がそんな安心安全な場になることを願って対話を推奨しています。

自分の世界が広がる 小さくても確実な〇〇が生まれる場

この場が終わるころには、自分の世界が少しだけ広がったような、すでにあるものに「気づきなおす」という感覚があるかもしれません。そこにつながったときに、いま自分は何を思い、自分自身に何を宣言したいか、そんな収穫を得るような時間もあるかもしれません。

プロデューサーより

今年で５回目を迎える１７０人会議。今回は２０名のプレゼンターと、５２名のスタッフの総勢７２名で準備を進めて参りました。今日までの３ヶ月間をプレゼンターごとにファシリテーター・サポーターのチーム体制で進め、プレゼンターが伝えたいこと、参加される皆さまと考えたいこと、を共に整理していきました。また、昨年に引き続き１分間という短いプレゼンにも挑戦しております。プレゼンターだけではなく、スタッフ全員にとっても、それぞれ挑戦の舞台となっているこの１７０人会議。今日をきっかけに新たな気づきや繋がりが生まれて、皆さまがこれから踏み出す一歩が鹿児島の未来をつくる大きな一歩となることを願っております。それでは、鹿児島未来170人会議を存分にお楽しみください。

一般社団法人
鹿児島天文館総合研究所
Ten-Lab
河野 礼奈

プロジェクトスタッフ

総合プロデューサー　河野 礼奈　　総合責任者　永山 由高

ディレクター　飯福 あすみ　　小野 優　　小平田 直也　　長崎 徳子

有馬 航輝	小山 花菜	黒瀬 絵里奈	坂元 大祐	種子田 璃紗	西木場 綾香	藤浦 清香	村田 啓豪
伊地知 将郎	門間ゆきの	児島 さゆり	鮫島 歩	鶴本 幸子	西村 里美	本田 豊洋	山下 大裕
磯田 依里	川中 正人	兒玉 萌	関 美穂子	寺田 麗々蘭	浜本 麦	前野 洋一郎	横道 うらら
稲森 公彬	木村 尚香	後藤 まどか	高橋 愛梨	中 美南穂	樋口 進哉	前原 直美	渡邉 尭之
岩下 綾花	切通 真紀子	小西 里奈	高橋 空雅	中川 詩織	平田 瑞季	松吉 みさと	渡辺 貴大
岡本 雄喜	黒江 学	木場 英朗	武田 恭輔	長崎 徳子	福島 花咲里	旨田 裕美	〈 50 音順 〉

鹿児島未来170人会議
KAGOSHIMA MIRAI 170 KAIGI

【主　　催】鹿児島県（共生・協働センター）

【実施団体】一般社団法人
鹿児島天文館総合研究所 Ten-Lab

【メディアパートナー】
MBCラジオ Radio Burn

※1 月 26 日（土）
本日 18:30 からの放送にて
今日の模様をダイジェストで放送します！

＜テレビ放送予定＞
2 月 24 日 (日)14:00-14:30　MBC テレビにて
本日の模様を 30 分の特別番組にて放送予定です

チャレンジしていること
そのきっかけ

描いている未来

普段の活動の様子

井上 健悟
いのうえ　けんご
Spice Project

時代は「謎解き」

SpiceProject（通称SP）では謎解きゲームを中心に人と人がより繋がる仕掛けや、地域やお店の魅力を引き出すお手伝い、歴史や文化を楽しめるような活動しています！登壇するきっかけは今まで3回この170人会議に参加し、様々な出会いがあり人生が変わりました。今回は提供する側になって多くの人のなにかのきっかけになれたらと思います。

老若男女問わず多くの人に謎解きを楽しんでほしい。その中で人と人が繋がり、地域や企業の魅力を再発見できればと思う。僕が作る謎解きは参加者が主人公。まるでゲームや映画の主人公のように仲間と一緒に様々な情報から謎や暗号を解き答えを導く。その過程で得られるチームワークや感動を多くの人に体験してほしい。

市電を使い歴史を学びながら謎解きする「謎電」

浜本 麗歌
はまもと　れいか
ことの葉日和

誰でもできる芸術活動「朗読」で内なる世界を広げたい

学校で取り組んでいる音読と「朗読」の違いは何？私の朗読講座はまずそこから始まります。「朗読」は、聞き手がいて初めて成立します。内容を深く考え、想像して、読み手と聞き手が心の中で同じ情景を共有できるよう声で表現する～誰にでもできる芸術活動の最初の一歩と、自分を表現するほんの少しの手助けをしています。

子供から大人まですぐに始められる表現の芸術活動～朗読。誰かの心をふり向かせる朗読は、技術よりも「想像力」が必要です。歌を歌うように「朗読」が日常の一部分になり、自分が想像したこと、表現することについて家族や仲間と気軽に話し合えたら…。もっと「人の気持ちに寄り添える」未来が描けるのではないでしょうか。

いつでもどこでも誰でも楽しめる「朗読」

内田 圭
うちだ　けい
株式会社 Realize

新たな就職活動の提案

普段、学習塾で生徒と接していて、最後に全員同じようにリクルートスーツを来て、企業側が望むような対応をするような今の就活に疑問を抱いているからです。短期決戦の面接では、うまく応えられない学生もいます。そこで、新たに作るコミニティスペースで多様な人材と人事の担当者が膝を付き合わせて過ごすような環境を思いつきました。

協賛企業から月額で料金をもらい、それでコミニティスペースを運営します。協力企業様の人事担当者は、スペースへの出入りが自由となり、長いスパンで学生と意見交換出来ます。スペースは、平日はコワーキングスペース、週末はイベントスペースとして機能します。大学生～高校生を中心に、就活が楽しいものになるのが理想です！

トークショーなども主催！日々、教育をアップデート！

湯ノ口 久仁子
ゆのくち　くにこ
依存症がない世の中を創る anone

予防したい！心の孤独から生まれる「依存症」

依存症を患った父をひとりにしてしまい，互いに辛く悲しい時間を過ごした経験があります。「依存症」は，人との関わりの中で愛を受け取れず，孤独を感じることでなる病気だといわれています。依存症の本当のことを知ってほしい，そして同じ思いをする人を一人でも減らしたいと考え，依存症の啓発活動をスタートさせました。

依存症の予防には，①病気を正しく理解すること②よりよく生きるために必要な技術を身につけることが重要です。依存症の予防に取り組むことで，一人一人が「自分らしい人生を手に入れる」ことができると考えています。生き辛さを感じている人を減らしたい！依存症で苦しむ人がいなくなる世の中を目指します。

食など身近な話題の中で依存症予防を伝える

伊藤 明子
いとう　あきこ
creativity & friendship ウミナリ

420年続く美山の薩摩焼プロモーションを考えたい

「第２回移住ドラフト会議」で美山に１位指名されたことで、“薩摩焼の里・美山” とつながる。その頃大学の陶芸コースに在学しており、美山に対し、より強い縁を感じる。420 年続く誇りと伝統は、この先どのようにしたら後世に残せるのか、新たな層に伝えられるのか。自分としては、挑みがいのあるテーマと感じている。

この先、薩摩焼だけで盛り上がるということではなく、美山を訪れる人が、美山を散策し、食事をし、もしかしたら宿泊をし、窯元を訪れる。今までの陶芸ファンだけではなく、もっと若い人たちに愛される、新しい薩摩焼のファンが生まれることを願っています。

甑を応援するイベント「甑の話食 @ 東京」

チャレンジしていること
そのきっかけ

描いている未来

普段の活動の様子

内野 康平
うちの　こうへい
一級建築士事務所 studioKANRO

「あずまや」「SHO｜YA」が種子島にもたらすコト

種子島の素材、島内外のアーティストや伝統工芸職人とコラボして、つくりあげた「泊まれる植物館あずまや」。人が集まり泊まれる植物館となり、島内外の人が集まって交流できるイベントが開催され、滞在型アトリエ、企業の研修場所など、フレキシブルに使われることで、少しずつ種子島の「あずまや」となってきている。

かつての役場という役割を終え、家主も去った築160年の「庄屋」は、「あずまや」からわずか50m先にあり、歴史的に貴重な建築様式に加え、鉄砲や鎧・書物などが発見された。新たに息を吹込むことで、住吉地区のコミュニティの拠点となり、島独自の歴史・薬膳料理、島内外の表現やアートが入り混じる「舞台」となること。

「あずまや」でのパーティー

野崎 翔太
のざき　しょうた
鹿児島大学法文学部人文学科
株式会社 ecommit

人を幸せにする、航空会社を作りたい

「人を幸せにする組織とは？」。学生サークルの部長を務めながら、大学を休学して会社で働きながら、鹿児島の若手が集う場を整えながら、常に抱いている問いのひとつです。鹿児島と旅と飛行機が大好きな自分は、この鹿児島に航空会社を作ることで、理想の「人を幸せにする組織」を体現したいと考えています。

何より自分自身が幸せに生き続けていられること。そして同時に、人生でご縁あるすべての人たちの夢や願いを叶えることができて、みんなが幸せの内に思い残すことなく人生を全うすることができること。そんな理想の未来が現実になるとき、世界はよりたくさんの笑顔と安心で満たされていると信じています。

鹿児島の若手が集う「かごんま若人の会」

橋口 まゆ
はしぐち　まゆ
橋口製茶

女性農業者のこれからを考える

農家に嫁いで13年が経ち、仕事・子育てを始め、自分達の暮らしを充実させ、もっと今の環境を楽しみたい！1人よりたくさんの同じ環境の農家女性と楽しいを共有していきたい！という思いから、20代~30代を対象に団体を立ち上げました。農業だけにとらわれず『農業女性×○○』あらゆることに挑戦してみたい！楽しむ仲間がせっかく出来たのでいろんなヒト、コト、モノとたくさん触れていきたいと考えています。

畑で仕事。家族との日々。日常の生活を大切にしていく中で、頑張っている農家の女性にも、新たな出会いの場・楽しめる環境を仲間と経験していくことで　新たな可能性を発見できる未来を描いています。

美味しい農作物は豊かな自然と人の想いから出来ている

葛岡 克紀
くずおか　かつのり
ＮＰＯ法人　顕娃おこそ会

地域の鉄道（指宿枕崎線）を通した地域活性化

現在、指宿から枕崎間にて、従来からある団体と関わりつつ、55周年記念行事やイベント列車等を、地域住民やＪＲ九州、観光関係者、自治体のご協力を得て、運営しています。元々は鉄道好きであること、東京から鹿児島のＩターンで沿線に住み始めて、過疎化による乗客数の減少にふれ、この流れを見過ごせなかった為です。

今後は、指宿枕崎線を利用した単発のイベントのみならず、駅の活性化や周辺観光地との連携、観光列車の運行への道づくり等の継続的な取組みにより、観光から交流・関係人口増、また、地域にお金が落ちるような流れに繋げていきたいです。そして、路線にも、人がもっと乗ってもらえるようにしたいと考えています。

鳥塚亮様（いすみ鉄道前社長）講演会の様子

正岡 まき
まさおか　まき
六番神輿葵連

六番神輿葵連、「市民神輿」としてのその魅力

毎年７月に行われる「おぎおんさぁ」。六番神輿は唯一の女性市民神輿として、年齢や職業に関係なく、毎年約200人もの人が集まります。私自身も普段は会社員として働きながら活動に参加して７年。担い手募集の記事を見て、好奇心で申し込んだことをきっかけに、今やすっかりのめり込んだその魅力をお伝えしたいです！

おぎおんさぁや六番神輿のことをより広く県内外の方に知って頂きたいと思います。祇園祭は平安時代から続く伝統ある祭りであり、次世代へこの伝統を継承することが私達の役割でもあります。加えて、市民神輿として、祭りや神輿を通して仲間づくり、街づくりに努め、地域を元気に盛り上げることを目指しています。

「元氣」で「粋」に、約２００人で担ぎます

チャレンジしていること
そのきっかけ

描いている未来

普段の活動の様子

永山 由高
ながやま　よしたか
鹿児島県エアギター協会

鹿児島の空気を前向きに動かすために

2016年からエアギターの世界に触れ、毎年公式戦にエントリーするようになりました（2018年は日本ランク２位に！）。その間、多くの鹿児島のプレイヤー仲間とともに大会を誘致するようになり（２年連続で全国大会誘致！）、まちづくりとエアギターの相性の良さに触れました。

目には見えないエアギターを、会場のみんなで「見る」競技は、町の中の見えない壁をとっぱらう力を持っているように思います。より多くの人に、この競技の魅力を通して「羞恥心を乗り越え」「孤独を恐れず」「最初の一歩を当事者として踏み出す」ことの楽しさを感じていただきたいと思っています。

エアギターは超魅力的な競技！

サンディー・ユハス
ハンガリー記者クラブ(MUOSZ)会員
国際ジャーナリスト

鹿児島発古本で文化交流。ハンガリーへそして世界へ。

母国ハンガリーと鹿児島には共通点が多い。視覚的にも解りやすい本を通じて、お互いの故郷を知り合える、国際交流を促進するプロジェクト。その名も「本ノコテ」。鹿児島で古本を集めて、ハンガリーへ送る。一般市民や企業など誰でも気軽に貢献できるエコで文化的な活動。オリンピックが間近な今こそ鹿児島を世界へ。

本の交流から初めて、人と人を繋ぐ今までにない国際交流の形。お互いの故郷に興味を持つことによってより密接な民間的、経済的な絆を築く。かつては国際交流において先進国であった薩摩の国を再び広く世界に知らしめる。過去にない政府機関や教育機関等をパートナーとして迎え入れた取り組みとなるでしょう。

鹿児島とハンガリーの国際交流セミナー

後藤 宏太
ごとう　こうた
鹿児島大学教育学部
第２回 ココカラカイギ
KAGOSHIMA 代表

ココカラカイギ KAGOSHIMA の意義と可能性について

ココカラカイギKAGOSHIMAは、学生を対象に「自分の人生に当事者意識をもち、人生をデザインしていく学生を増やすこと」を目的とする合宿型自己探求プロジェクトです。第2回となる今回は2月20-21日、サポーターとして学生に寄り添います。私は第1回の参加者で、影響を受けた1人です。次はだれかの力になりたいと思い、つくる側に入りました。

関わってくれたことでKAGOSHIMAから主体的に行動する学生が増え、自らの人生をワクワクしながら進み、学生と学生、人と人のつながりを築いていくなどなど…何でもいいんです！自分で意志をもって決断し、歩む人を増やし関わり続けていきたいと思っています。そんな人が増えれば、もっと世の中はおもしろくなる！

あたたかく愛のある雰囲気を大切に

平原 大志
ひらはら　たいし
学校法人原田学園
鹿児島キャリアデザイン専門学校

観るだけじゃない！鹿児島で映画を「産業化」する！

私は東京で長らく映画・ドラマ制作の仕事をしていました。現在は専門学校で映像製作について教鞭を執っています。現状では教え子が県内就職先として映像業界を選ぶことが難しく、映像製作の楽しさや厳しさを学んでも、それを活かせるところがなく、才能は他県に搾取されていくばかり。その状況をまずは打破したいのです。

東京などの制作プロダクションに頼ることなく、鹿児島県民自らの手で、鹿児島を舞台とした映画・ドラマを製作し、上映／放映し、観ることの出来る「産業化」を目指します。鹿児島からのコンテンツ発信を常態化し、他県のテレビ局などのプラットホームにそれを売るなどして利潤をあげるのが最終目標です。

教え子たちと一緒に映画を撮っています！

福元 豪士
ふくもと　たけし
HUB&LABO YAKUSHIMA

教育の場として屋久島を島外とつなげたい！

世界自然遺産の島。屋久島を舞台に環境教育を行っています。田舎に行けば行くほど、子どもたちが遊ぶ場所が無い。島の自然の魅力を知らずに育っていく子どもたち、「島には何も無い！」と島外を目指す。そんな屋久島の子どもたちと対照的な「屋久島に行きたい！」と全国から大学生が集まる４泊５日の合宿を開催中。

目指す未来は「子どもたち自身が大好きだと言える島」。そして、屋久島を「環境教育の島」にする。子どもたちに島の魅力を伝えることは大事。もう一つ欠かせない要素が、島外からの刺激。島を舞台に島外の方と教育ができることは、屋久島の価値が認められること。「屋久島すごい！」この一言が子どもたちの自慢につながる。

第三回環境系学生未来塾(H30.9.1-5)

チャレンジしていること
そのきっかけ

描いている未来

普段の活動の様子

徳重 朋子
とくしげ　ともこ
心コンシェルジュ

ちゃんと聴いてもらえるだけで人は変われる

心コンシェルジュで話を聴くと、人が成長したり、人間関係が変わるのを目の当たりにします。他の女性ともこの感情を分かち合いたい。聴いてもらえて、本当の自分を発揮して生きられる人を増やしたい。女性の安心できる繋がりが、女性の心を満たして、より、ちゃんと聴けるように繋がることを感じてほしい。

自己肯定感が低かったり、自己重要感を感じられないで苦しんでいる人が、満たされ、自信を持って、自分を発揮して生きてほしい。そうしたら、みんな自分のことで悩まなくなって、本当に人の為になれるから、老人や子供や自然に優しい社会が作られる。

聴き方で愛する愛される満たされる

味園 将矢
みその　まさや
37design < サンナナデザイン >

役割を果たした建物の次の可能性を一緒に考えていく

これまで私たちには『取り壊す前に相談してほしかった』という建物がたくさんありました。「活かすべき建物」と「建物を必要としている人」とを引き合わせることが大切だと考えています。必要としている暮らし方や地域のニーズに合わせ、何を活かして、どこに手を加えるのか、一緒に考えていくパートナーになりたいです！！

考えた結果、取り壊すことになったとしても、使える材料は回収し、古材や古道具として次の役割を見つけてあげたい。
『地域に残るべき建物がちゃんと残り、古き良きものが流通しながらも良質な新しい建物が建っていく』建物と人が上手に繋がった、これからの風景を描いていきたいと思っています。

廃業された木工所さんからの古材の回収

中村 太悟
なかむら　だいご
学校法人希望が丘学園
鳳凰高等学校

学校教育をアップデート。人と人とをつなぐ教育の実現

学校っていらないんじゃない？本気でそう思い始めたのは教員 5 年目。インターネットの普及とそれに伴う AI の発達によって、従来の学校システムに限界を覚えた。「持っている知識をどのように社会に還元していくか」を大切に、現在は実験教室の運営や観光事業、3D モデリングなどに生徒とともに取り組んでいます。

生徒は学校なしでも学べるようになった。これからは従来の Teach だけでなく、Coach や Design といったスキルが教育現場には求められる。教員と地域の方々が協力して、学校教育のあり方やその手法を再定義しながら、多くの高校生が社会に貢献し笑顔で活躍できる場をともにつくっていける未来を描いています。

地域の方から3D モデリングを教えてもらっている

谷川 勝彦
たにがわ　かつひこ
特定非営利活動法人
ルネスかごしま

ひだまりカフェ 100 ヶ所計画

私自身が、中高大と不登校、社会人になってからは長いひきこもり期間を過ごすなど、生きづらさを強く感じる中で、誰かに傷つけられることなく、おだやかに話をしたり、話を聞いたりすることができる居場所を求めていて、無いのなら自分で作ろうと思ったのでこれまで取り組んできました。

あらゆる人が、自分の意志で自分の生き方を選択できるように、自己決定するための力を、ゆっくりとたくわえることのできる空間（居場所）が、世界のあらゆるところにあるように。

ひだまりカフェでの 1 コマ

福元 和彦
ふくもと　かずひこ
NPO 法人
日本メンズヘルスネットワーク

メンズヘルスとセクシャルヘルス

男性特有の悩みを解決する「福元メンズヘルスクリニック」を鹿児島市で 2017 年 5 月に開院しました。認知度が低い男性医療（メンズヘルス）を普及させるべく NPO 法人も立ち上げました。また、タブー視されている「性」を少しでもオープンにするために世界初の TENGA ドクターとして活動しています。

悩める男性に対してのサポートが欠如している日本において、多くの男性がもっと活力ある人生を送っていただけるような社会を目指しています。また、様々な性の悩みを抱えている方へのサポートや性の問題への取り組みで、みんなが「正しく・楽しく」性に向き合える社会になると思います。

日本財団主催の「性」のイベントに登壇